

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

学校園が積極的に地域に出て地域の方々と交流し、連携・協働していくような取組の開発と充実。地域・保護者・各種団体の参画への働きかけ。

【今年度の取組紹介】

○中学生とこども園児との交流

今年度、こども園の夏祭りとクリスマス会に中学生が参加しました。夏祭りでは吹奏楽部が演奏しただけでなく、地域の方といっ



しょに模擬店のお手伝いもして園児と交流しました。



○小学生と中学生との交流

秋の土曜参観の時に、小学6年生が、中学生と一緒に自転車安全運転の出前講座を受講したり、授業や部活動の体験をして交流しました。

【今年度のまとめ】

4小学校の統合再編を経て、こども園、小学校、中学校がごく近距離に位置したことで中学生がこども園園児や小学生と交流することが容易になりました。上記のような新しい企画についても、コーディネーターを中心に多くのボランティアの皆さんにご協力いただき、それぞれの目的を達成することができました。都祁地域の児童生徒は、様々な活動に地域の方々がいつも目を掛け、気を配っていただいていることを実感し、地域に誇りを持つとともに、地域の一員としての自覚を高めることができました。

【来年度に向けて】

一小・一中・一こども園が近距離に位置したという都祁地域の強みを最大限に生かして、園・小・中の交流をさらに活発におこなっていきたいです。その中でも、地域で開催されている「都祁高原マラソン」(来年度は第40回の記念大会です。)に関して、中学生だけでなく園児や児童が地域の方々とともに活動していく場面が作りだせたらいいなあと考えています。いずれにしても、一方的な支援する・されるという関係ではなく、双方向の交流をめざし、お互いが自己有用感を持てるような取組を計画し実行していきたいと考えています。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

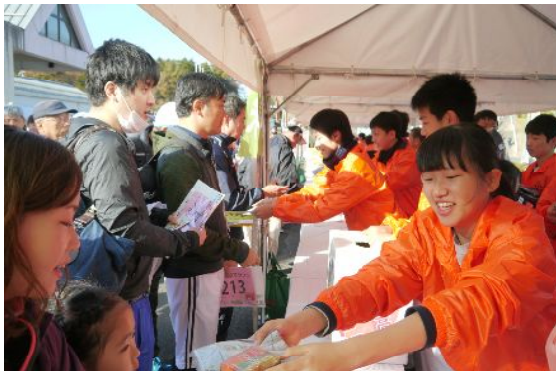
取組目標

中学校が積極的に地域に出て地域の方々と交流し、連携・協働していくような取組の開発と充実。地域・保護者・各種団体の参画への働きかけ。

【今年度の取組紹介】

○ 「第39回都祁高原マラソン」への参加

昨年、地域で実施されている「第39回都祁高原マラソン」に全校生徒がスタッフとして参加しました。大会準備として式典の背景画の制作や会場周辺の清掃、開会式での演奏や選手の受付、参加記念品の手渡し、スタート地点やゴール地点での選手の誘導、表彰の補助など、地域の方々とともに大会運営に取り組みました。また、大会当日「はるかひまわり絆プロジェクト」として、神戸の震災にゆかりのあるひまわりの種も配布し、命の大切さや防災についての学習も深めました。昨年よりもさらに充実した取組となり、地域の方々、選手のみなさんからも高い評価をいただきました。



【今年度のまとめ】

都祁高原マラソン2年目、農業体験(さつまいも栽培)3年目と継続し発展させた取組で地域の方々とともに活動することができました。また、新たに地域の方々を講師として、2週間に1回の割合で中学校で数学道場やエイサー教室を開催し、学びを深めることができました。

さらに今年は、防災訓練をはじめとする地域の行事にボランティアで参加する機会も増えました。そういう活動を通して、地域の方々にも都祁中学校の生徒が頼れる存在として認知されつつあると感じています。

【来年度に向けて】

地域の方々と地域の行事に積極的に関わっていく機会をさらに増やしていきます。また、こども園や小学校との交流も積極的に行っていきたいです。

地域の方々を講師としてさまざまな学びの機会も増やしていきたいです。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

地域力を生かして社会体験や感動体験を積ませ、思いやりの心・互いを信頼する心を育てる。また、何事にも粘り強く取り組む子を育てる。

【今年度の取組紹介】

○米作りや野菜作りを中心とした栽培体験事業

開校2年目の今年は、旧4小学校統合再編によって広がった校区の方々との関わりをさらに深めることを念頭に置きました。収穫した米や野菜は、生活科や家庭科などで調理することにより、勤労生産と地産地消を関連させた学習につなげることができています。

○学習支援事業

国語科における「地域に伝わる昔話」、社会科における「昔の道具とくらし」、音楽科における「和楽器の演奏」など、カリキュラムの充実を図るために学習支援をしていただきました。学習後にはお礼の手紙を書くなど、地域ボランティアと繋がりも深まっています。

○地域ボランティアのお力を借りた環境整備事業

統合再編後、未整備となっていた遊び道具置き場（*右の写真）、増築教室掲示板の設置を建築組合等の奉仕作業によって行っていただき、環境を整備することができました。



【今年度のまとめ】

開校2年目の事業を終え、新しい小学校としての取組の地盤が固まりつつあります。今年度は、カリキュラムへの位置付け、地域コーディネーター・ボランティアとの役割分担も整理できてきました。昨年度同様、労を惜しまず協力いただいた地域の方々には感謝の念しかありません。今後も「繋がり」を大切にし、感動体験・思いやりの心・信頼の心を育てるための歩みを着実に進めていきたいと考えています。

【来年度に向けて】

今年から設置しているコミュニティ・スクール運営協議会などでもご意見を伺うとともに、より充実した事業となるよう、学校内でも総括を行います。また、これまで同様、支援いただく学習を単なる体験活動で終わらせるのではなく、教科や総合的な学習の時間等との関連を明確にして所期の知識や態度、意識が身に付くように配慮していきたいと考えています。

めざす子ども像

ふるさとでの学びを誇りに

たくましく未来を切り拓く 都祁の子

取組目標

地域とのつながりを意識できるような事業に参加する中で、子どもたちに地域への関心が感じられるような取組の充実

【今年度の取組紹介】

地域のお花の先生に来て頂いて生け花体験をしました。子どもたちは家から生けてみたい花を持ってきたり、園庭に咲いている花を摘んだりして準備をしました。お花の先生が丁寧に生け方や扱い方を教えてください、子どもたちは興味深く聞き入っていました。「花束みたいに生けてみましょう。」と教えてください、お花の高低差を考えながら自分なりにアレンジして生けることができました。

「お花はきれいだけど、生けたらこんなにきれいになるんだと思いました。」「生け花をして楽しかったです。」等子どもたちの感動した声が聞かれました。

お花の先生には、生け花の生け方だけでなく、お花を家から持ってきて準備することや生けてから片付けまで丁寧にすることなど、活動の過程を積み重ねることで身につけていけるようにすることも大切だと教えていただきました。生け花体験を通して地域の方とふれあい、いろいろなことを学ぶ素敵な機会となりました。



【今年度のまとめ】

地域の方々の協力のもと、おはなしのひろば、菜園活動、生け花・茶道・剣道体験、地域の行事への参加等、園だけでは経験できない様々な豊かな経験、感動体験ができました。

いろいろな体験をすることで地域の方への親しみや感謝の気持ちをもつとともに、地域の方にほめてもらったり認めてもらったり大きな拍手をもらったりすることが、子どもたちの自信や意欲につながりました。様々な経験を通して子どもたちは、主体的意欲的に活動する力がついてきていると感じます。地域の方にあたたかく見守られ声をかけていただくことで、自分の住んでいる地域に関心をもち好きになるきっかけになると思います。

【来年度に向けて】

地域の方々の協力をいただきながら、その中で地域の方とのつながりを感じ心豊かで生き生きと生活できる子どもをめざして、様々な感動体験ができるよう取り組んでいきたいと思っております。また、いろいろな交流や体験を通して自分を表現したり日本の文化を学んだり感じたりできるようにしていきたいです。